令和７年度
弘前市工芸品魅力向上事業費
補助金利用事例

プロモーションツール製作

株式会社たなか銘産

弘前市に工場を構える「津軽塗たなか」は、百数十年以上前に創業者の田中柾敏が塗師となったところからスタート。

漆と向き合い、塗っては研ぎ、また塗る。その繰り返しの中で、暮らしに寄り添う漆器を一つひとつ手仕事でつくり続けてきた。代替わりを重ねながらも、工場に流れる時間や、技を確かめ合う手の感覚は変わることなく受け継がれている。

近年では、長年培ってきた技を土台に、漆の表情や光の奥行きを引き出す新たな試みにも取り組み、津軽塗の可能性を次の世代へとつないでいる。

取組内容

「透ける津軽塗」の認知拡大と国内外へ向けた販路開拓のため、プロモーションツールとしてパネルとパンフレットを製作した。

パネルには「透ける津軽塗」を施し、国内の店舗総合見本市に出展した際に展示。パネルによって来場者への効果的なPRができ、商談へつながった。パンフレットには、「透ける津軽塗」を視覚的に掲載し、会社の歴史や技術とともに新しい表現が実現できるテクスチャとしての製品紹介をする内容となった。

プロモーションパネル

パンフレット

株式会社たなか銘産（津軽塗たなか）
弘前市土手町24-10
☎0172-33-4649
https://tanaka-meisan.jp

プロモーションツール製作

建具工芸齊藤

2002年に建具工芸齊藤を開業。2016年、弘前市駒越に展示場「津軽傳統（でんとう）組子館」をオープン。組子の魅力と技術を普及するために、展示や体験活動に力を入れている。

取組内容

「津軽傳統組子館」の来客促進による津軽傳統組子の認知度向上のために、案内リーフレット、組子ストラップ商品の台紙、名刺を製作。

リーフレットの製作により、当初は訪問予定がなかった観光客が組子館を訪れる機会が増えた。また、各種メディアから組子館を訪れた方にも、リーフレットを用いて更に組子の魅力を伝えることができ、満足度向上につながった。

台紙の製作により、ストラップの商品魅力度が高まった。

ストラップ台紙

リーフレット

名刺

建具工房齊藤（津軽傳統組子館）
弘前市茂森新町3丁目1-13
☎080-5566-7223（9:00～16:00〈12:00～13:00除く〉）
https://tsugarukumiko.mydns.jp